



# 2021年度 決算説明会 イビデン株式会社 (4062)

2022年4月28日

**このプレゼンテーション資料には、2022年4月27日現在の将来に**

**関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。**

**世界経済・競合状況・為替変動等にかかわるリスクや不確定要因**

**により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。**

# 2021年度 実績

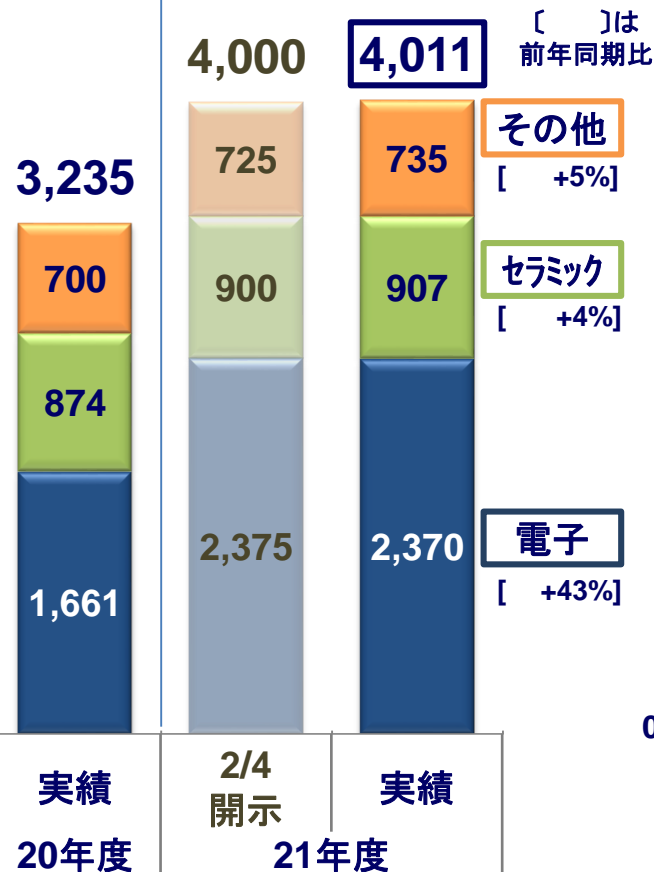
# 2021年度(通期) 売上高・営業利益・純利益 実績



## 売上高

(億円)

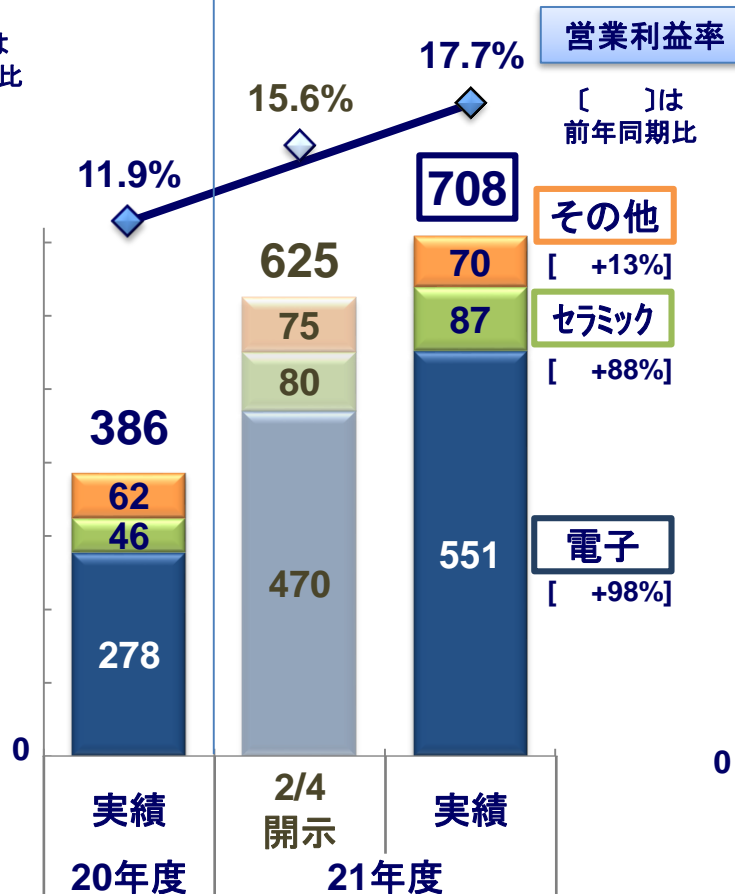
前年同期比  
+24.0%



## 営業利益

(億円)

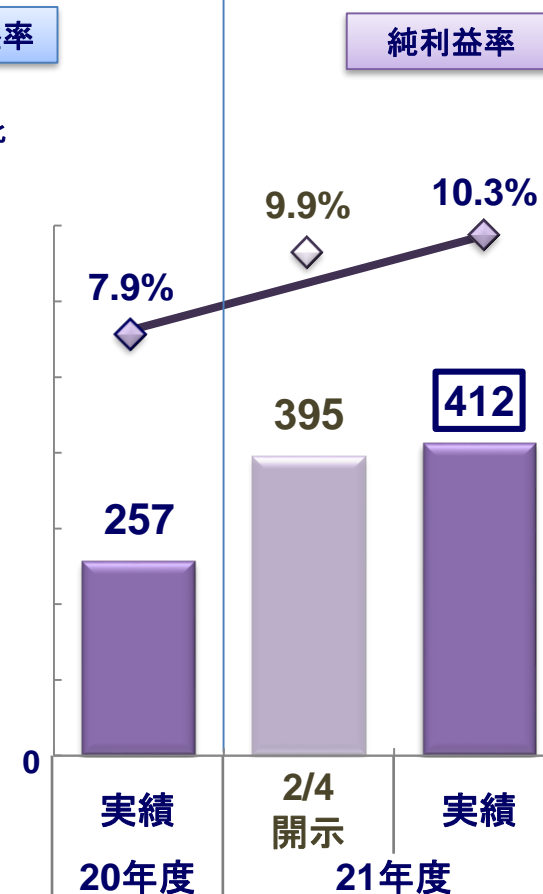
前年同期比  
+83.3%



## 純利益

(億円)

前年同期比  
+60.4%



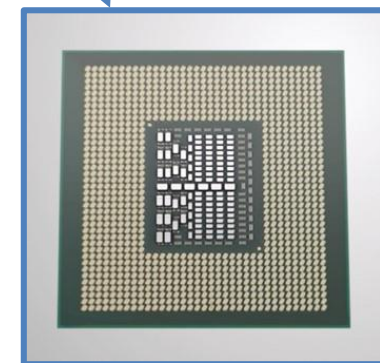
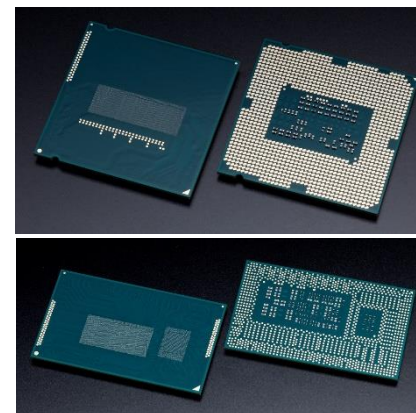
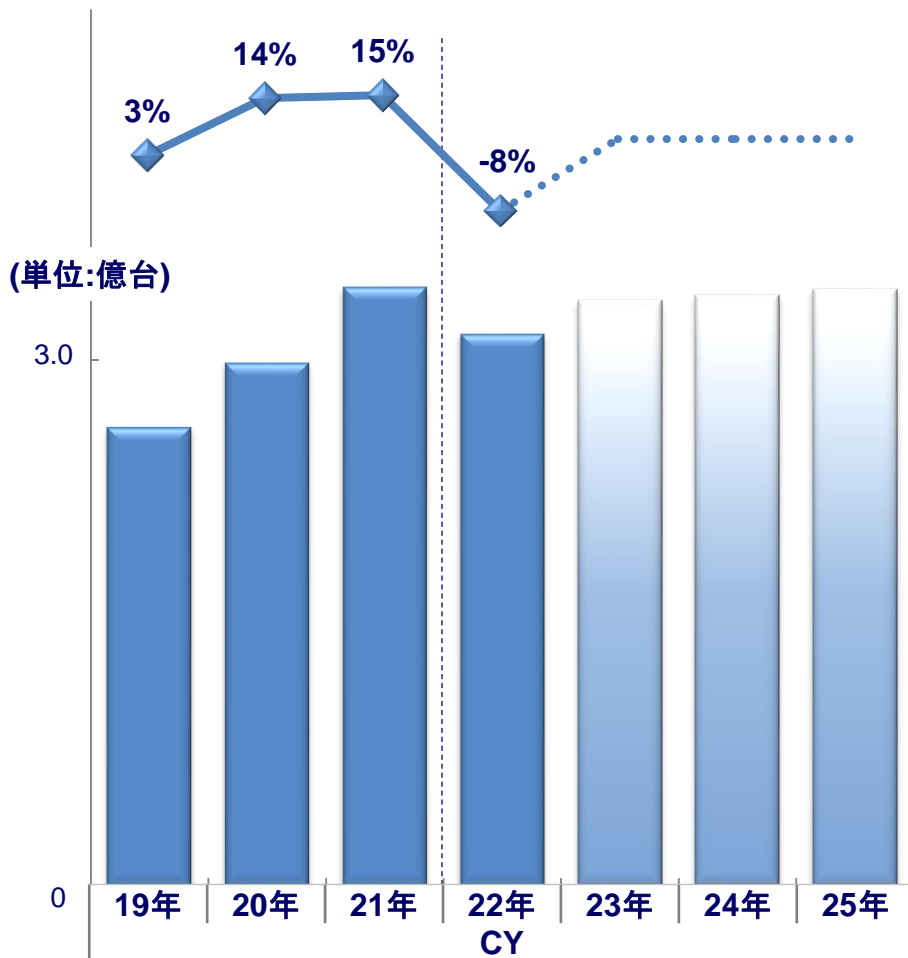
105	110	111	為替(ドル)
121	130	129	為替(ユーロ)

# 市場見通しと 当社事業展望

# [電子] パソコン市場の動向

□ テレワーク・オンライン教育向け、OS更新需要の一巡に伴い、22年は一旦落ち込むものの  
中長期では安定的に推移する見通し

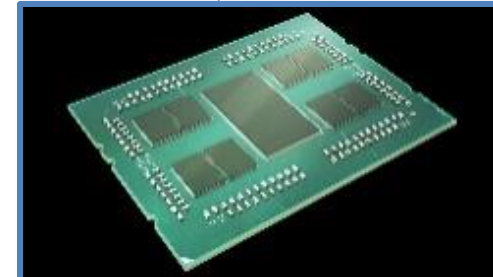
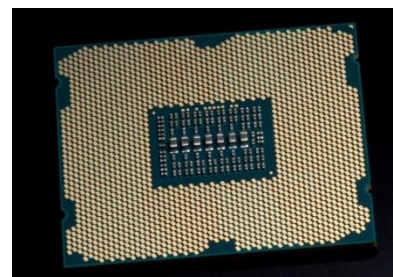
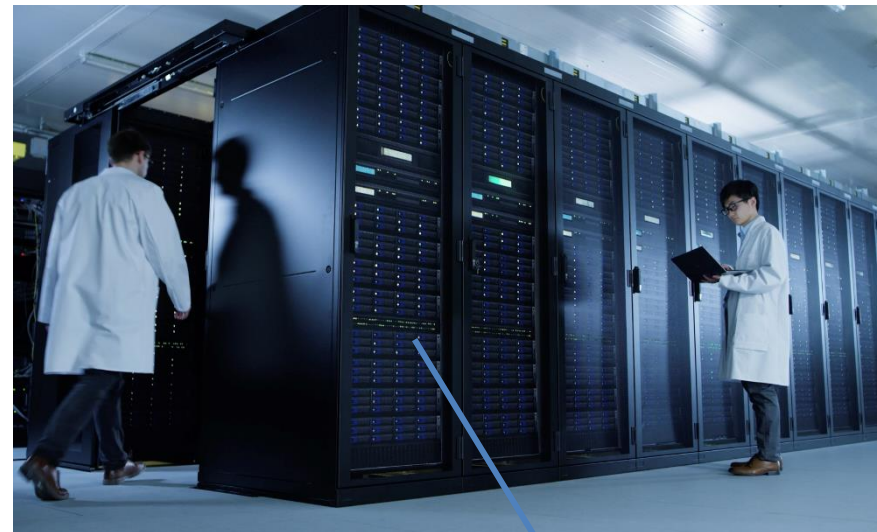
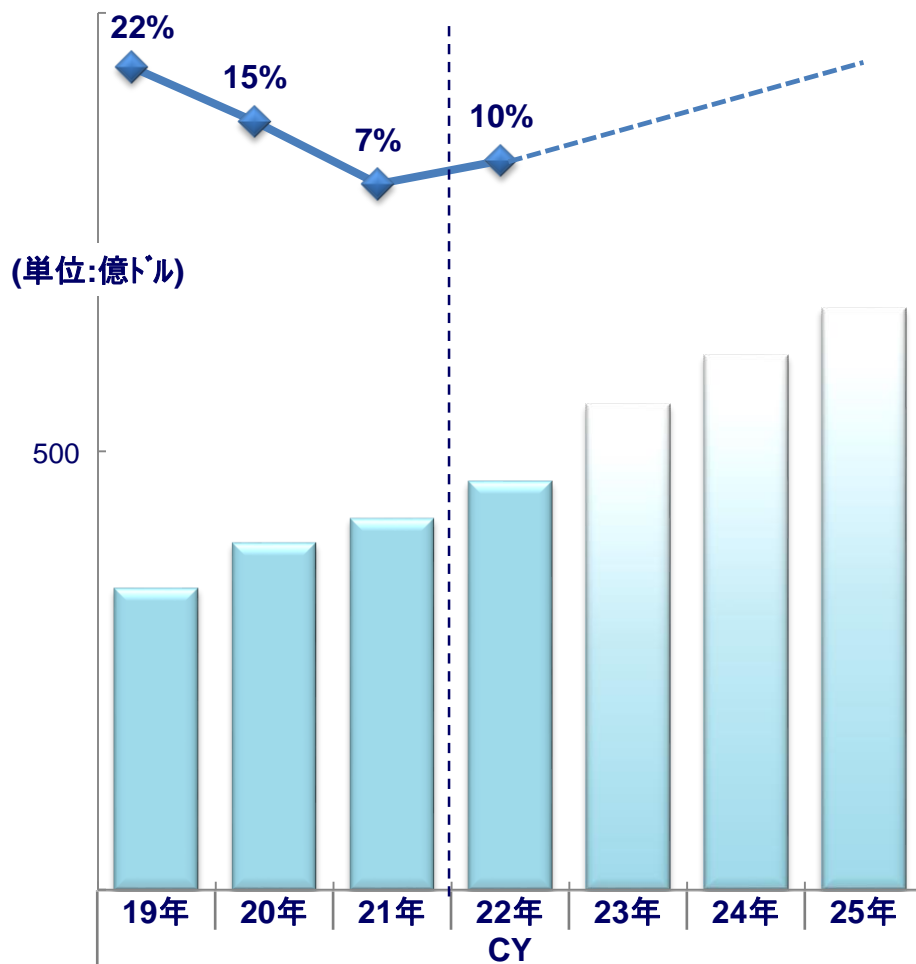
◆ パソコン成長率 (外部調査会社の情報を基に推定)



# [電子] データセンター市場の動向

□ 企業活動を中心としたデジタル化・クラウド化の加速により、22年より二桁成長水準への回帰を見込む

◆ データセンター成長率 (外部調査会社の情報を基に推定)



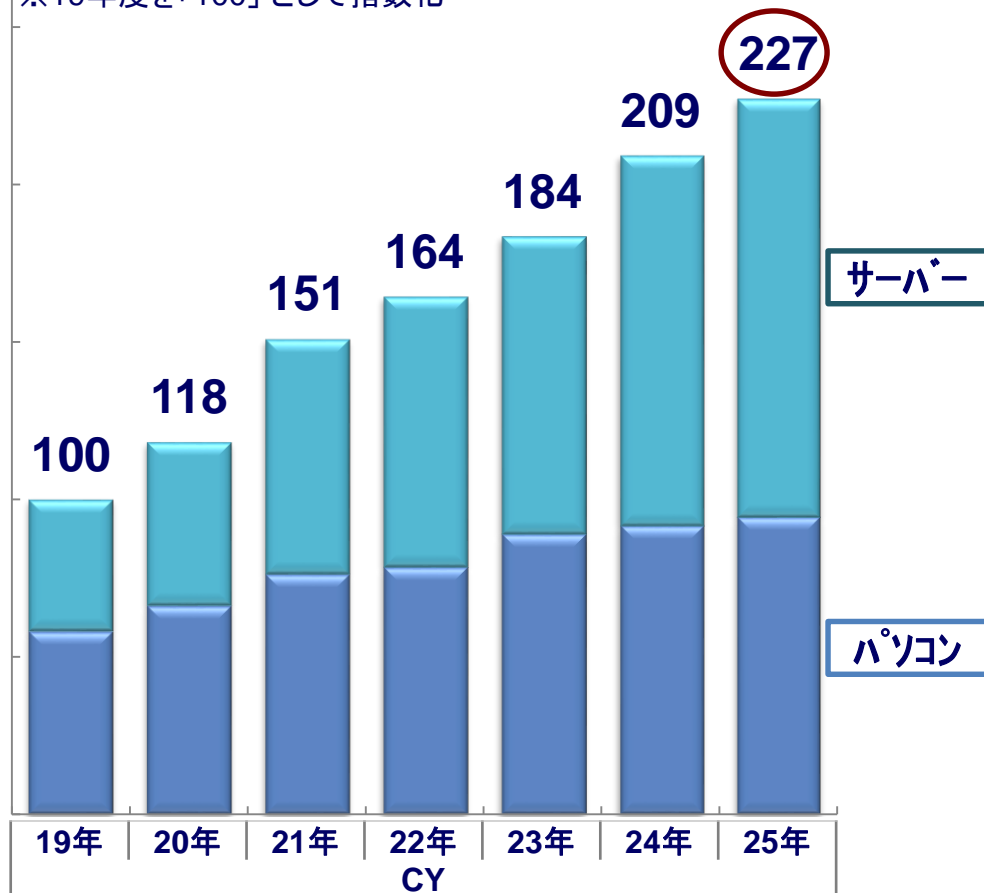
□ ICパッケージ基板の大型化・高多層化・微細化により、製造工程(SAP)負荷が増加

## SAP\*需要(面積)

(顧客情報等を基に推定)

\*Semi Additive Process

※19年度を「100」として指数化



## アプリケーション別SAP負荷の推移

		2021	2025
パソコン	面積	1.0	1.0
	Bu回数	1.0	1.3
	SAP負荷	1.0	1.3
サーバー	面積	2.6	3.6
	Bu回数	2.5	2.5
	SAP負荷	6.5	9.0



4/15 新棟建設の起工式



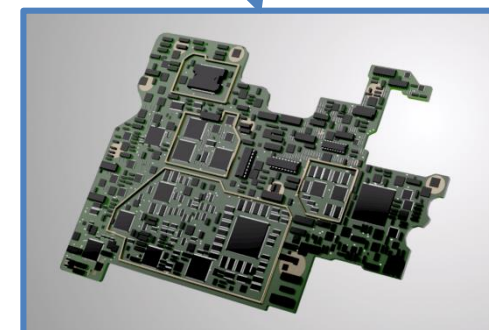
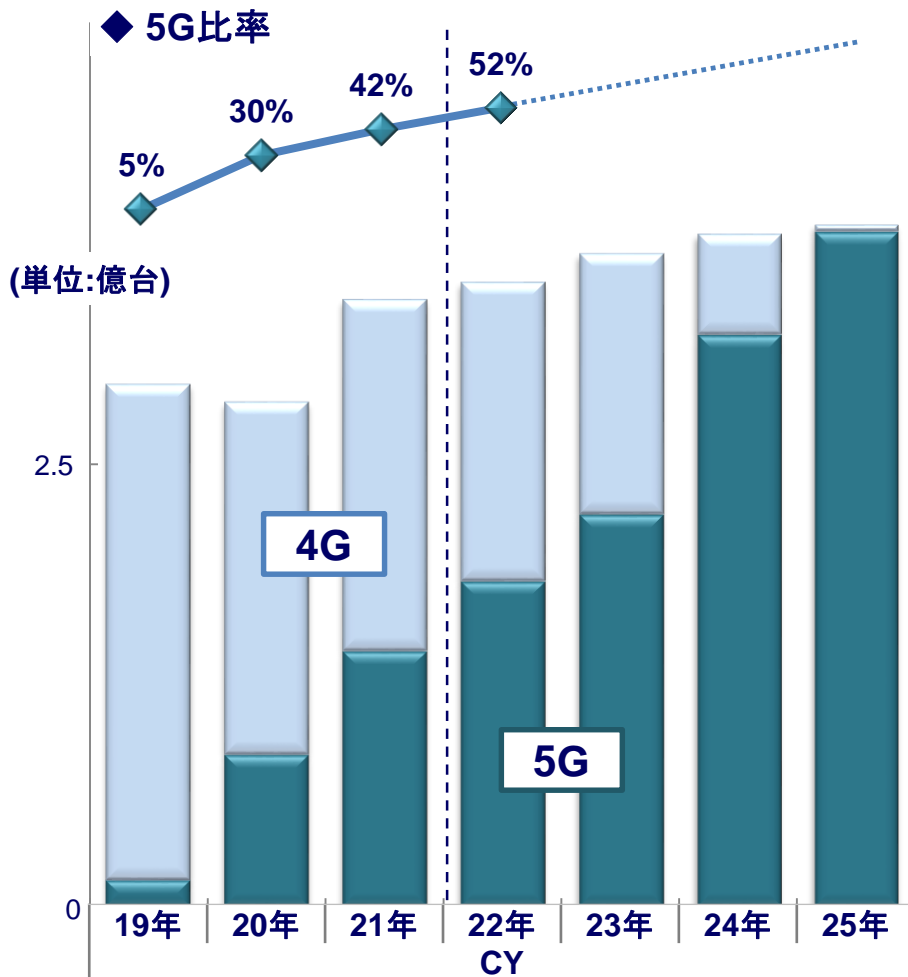
河間事業場 新棟(2024年 量産開始)



# [電子] ハイエンドスマホ市場の動向

□ ハイエンドスマホ市場全体は5Gサービスの本格普及に伴い、緩やかな成長の見通し

(外部調査会社の情報を基に推定)



# [セラミック] 自動車生産台数の見通し

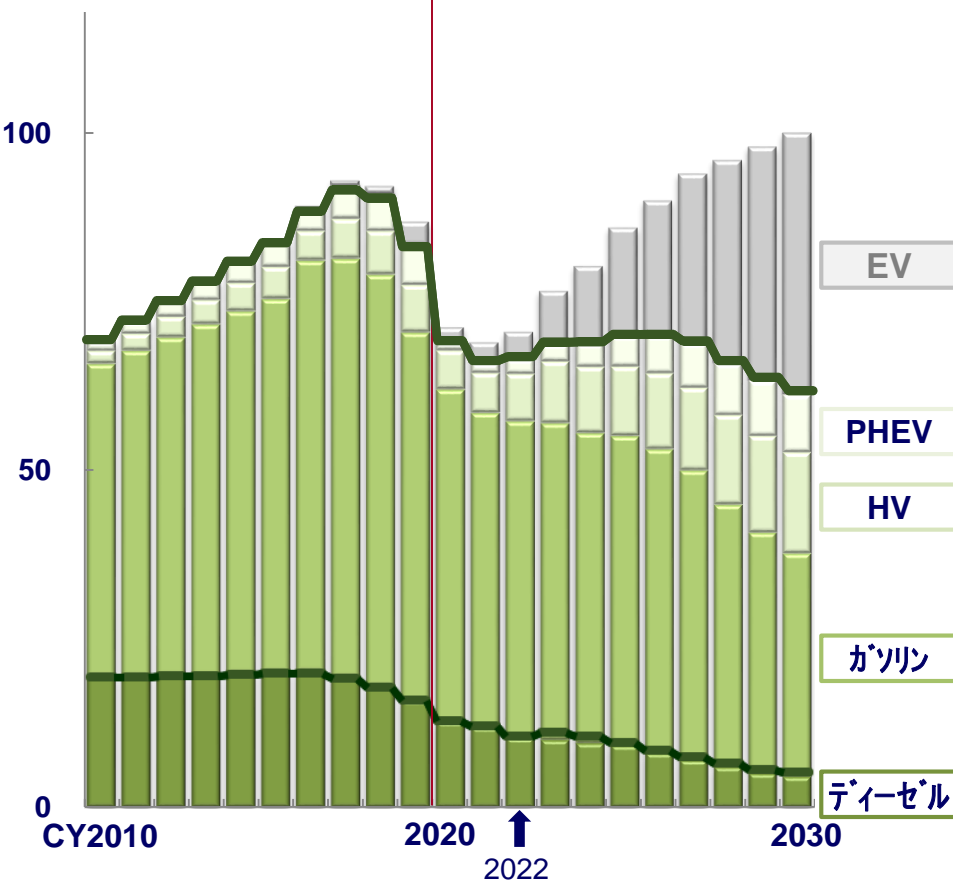
- 乗用車市場 : 内燃機関搭載車は、一定水準残るも、電動化が加速する見通し
- 中・大型車市場 : 中国・新興国を中心とした排ガス規制の強化を背景に拡大

## 乗用車

(外部調査会社の情報を基に推定)



(百万台)

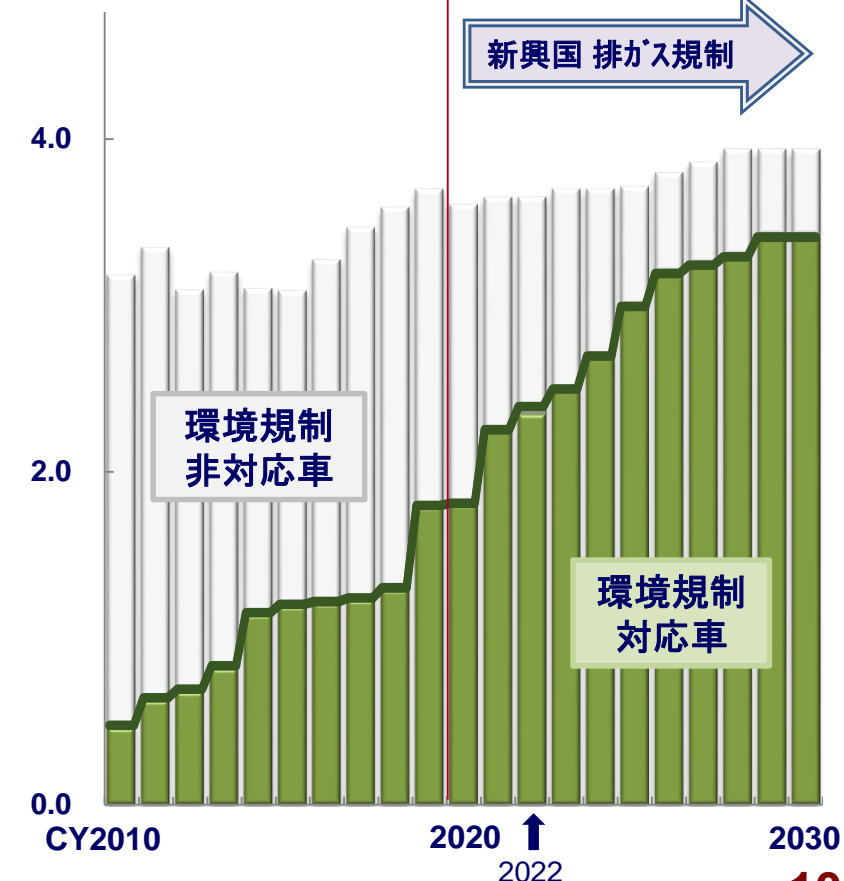


## 中・大型商用車

(外部調査会社の情報を基に推定)



(百万台)



# [セラミック] 排気系事業

- 市場デマンドの変化に合わせ、ハンガリー・メキシコ・日本の3拠点を活用し、フレキシブルに対応する
- イビデンファインセラミック蘇州を軸に、中国市場の触媒担体保持・シール材の需要拡大を取り込む

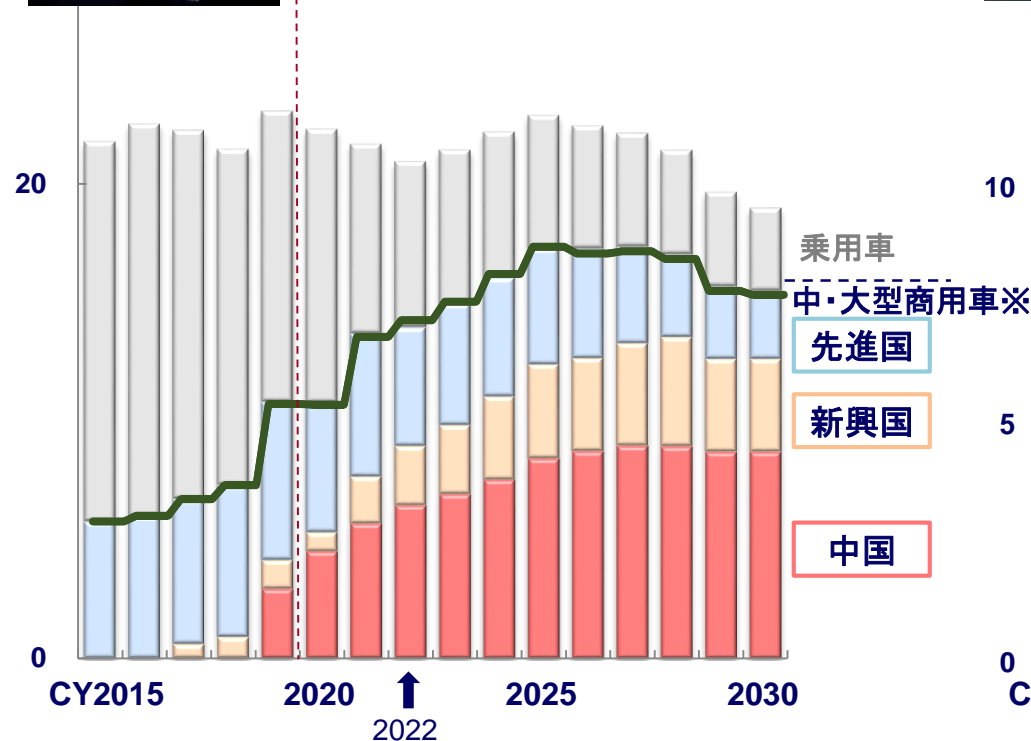
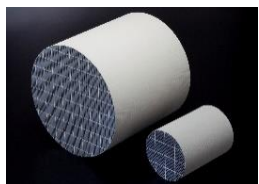
## DPF市場

※乗用車の約3倍換算

(百万台)

(顧客情報等を基に推定)

中国 排ガス規制

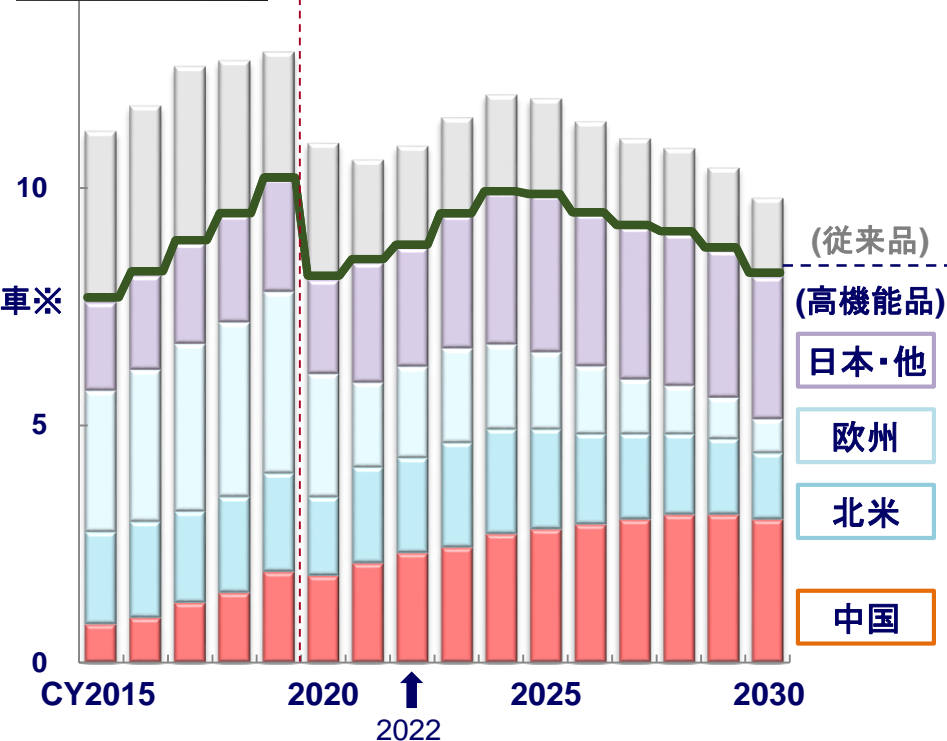


## 自動車用触媒担体・保持シール材

(千ton)

(顧客情報等を基に推定)

中国 排ガス規制



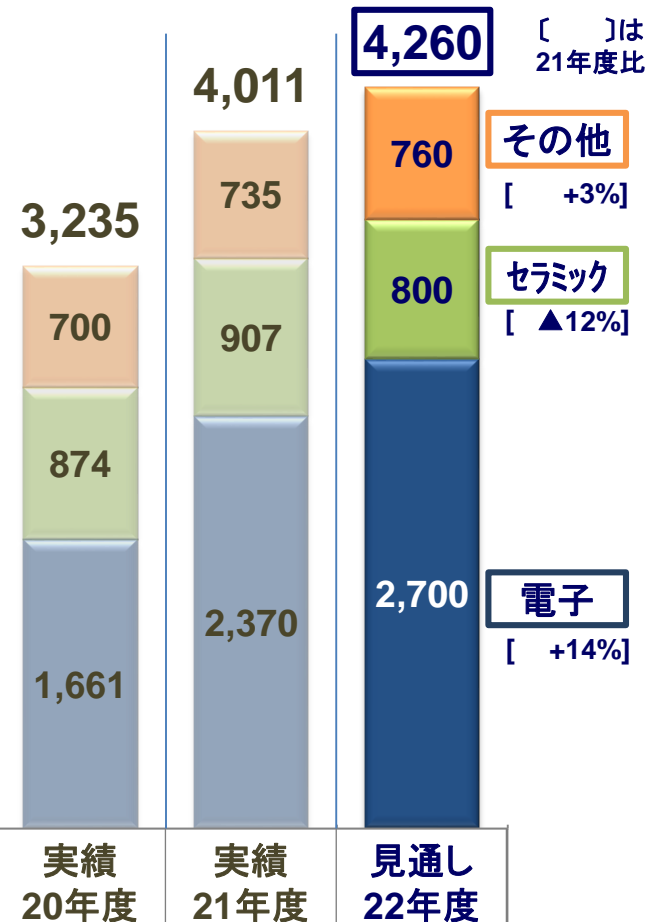
# 2022年度 見通し

# 2022年度(通期) 売上高・営業利益・純利益 見通し

## 売上高

(億円)

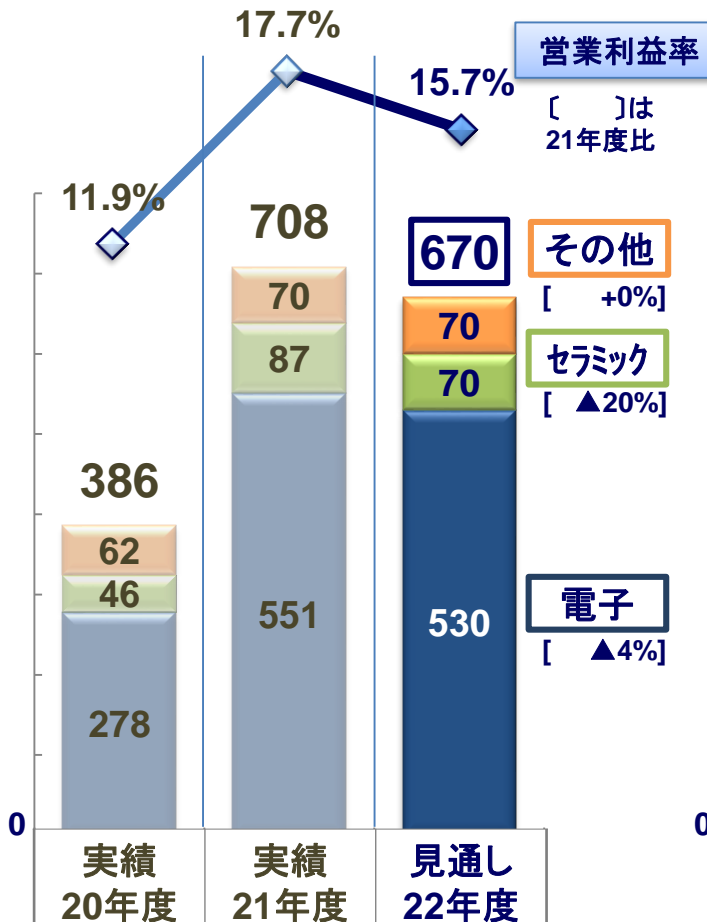
21年度比  
+6.2%



## 営業利益

(億円)

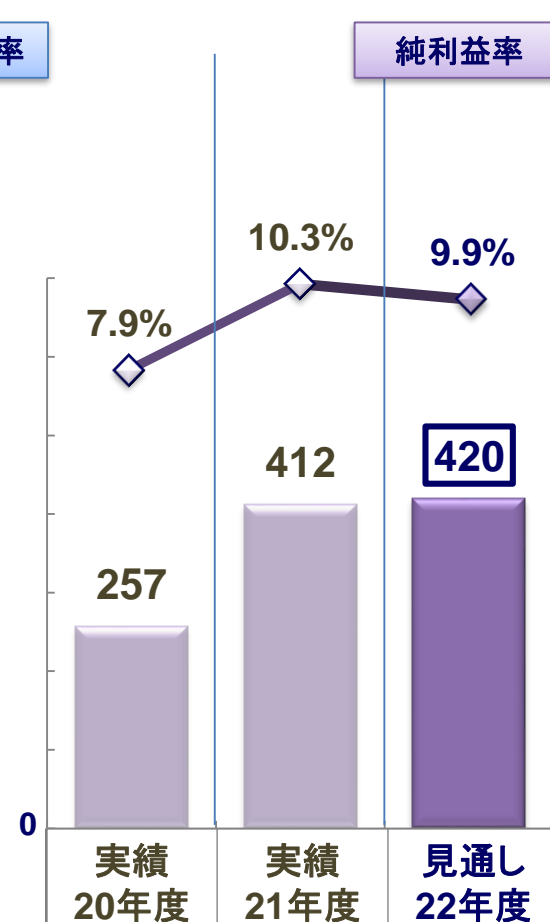
21年度比  
▲5.4%



## 純利益

(億円)

21年度比  
+1.9%



120 為替(ドル)  
130 為替(ユーロ)

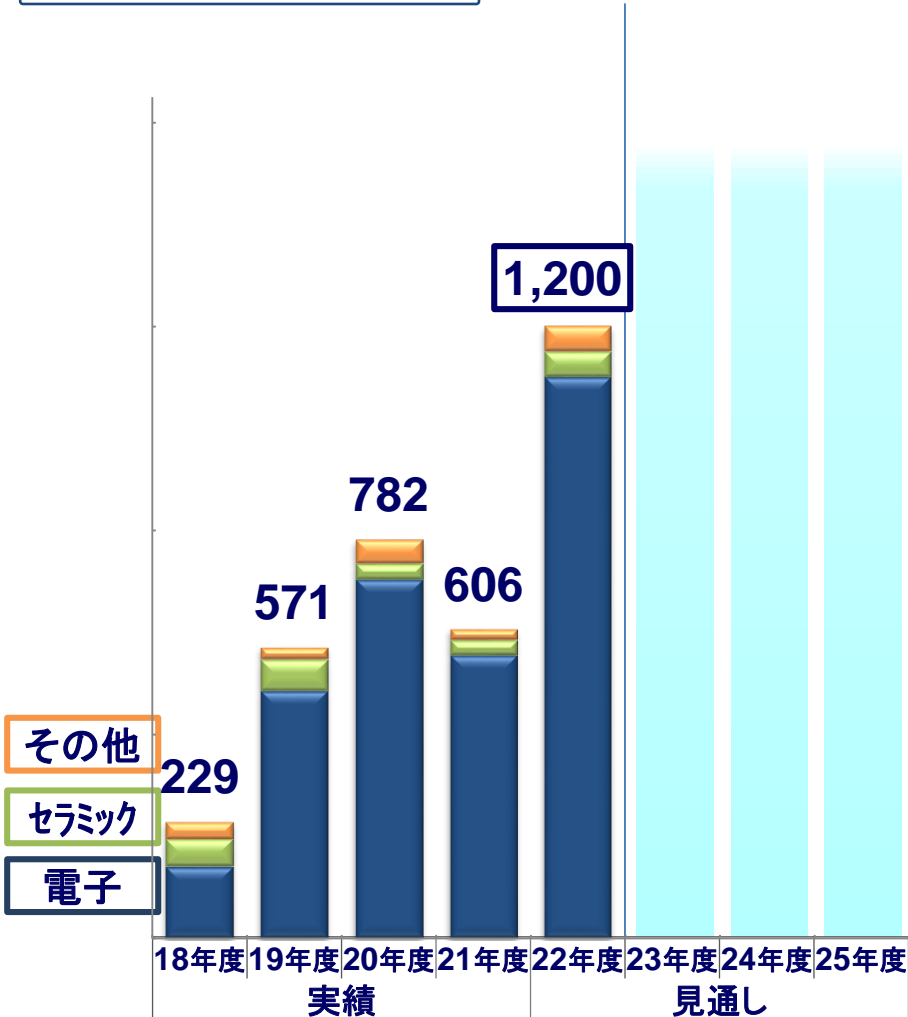
620 減価償却費

# 中期業績 見通し

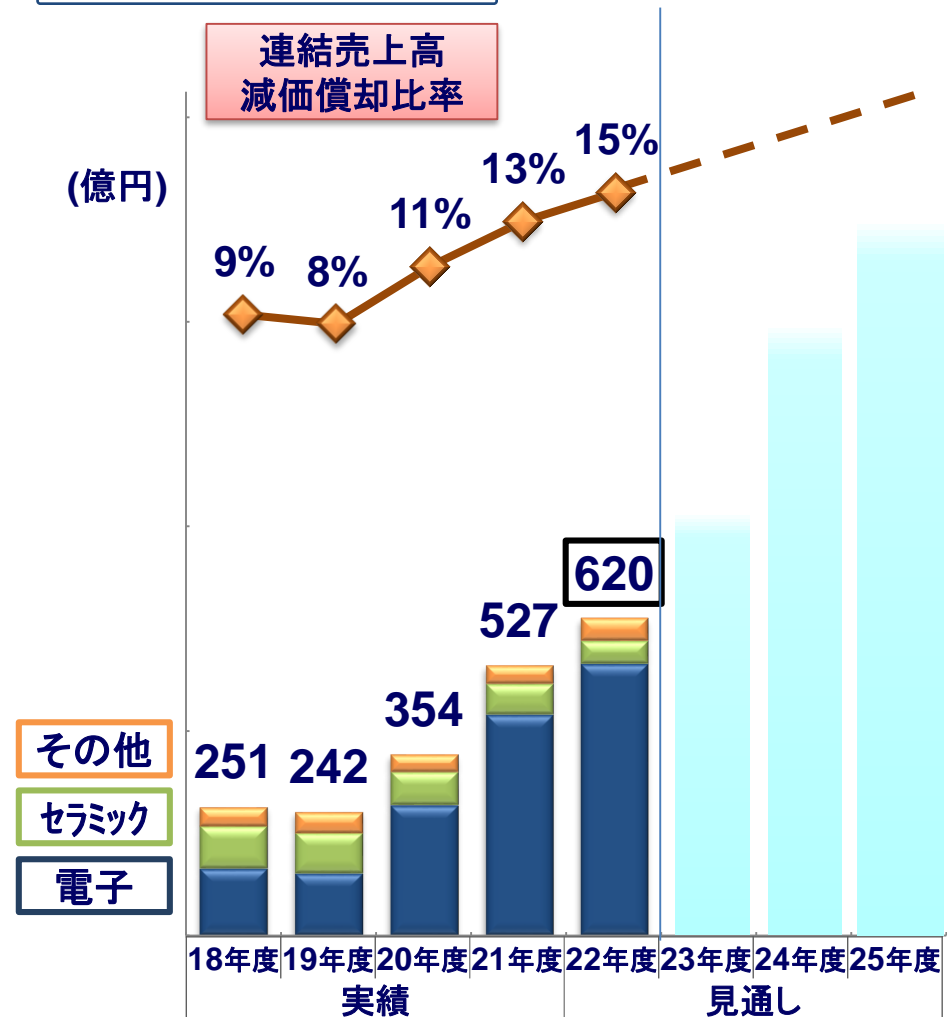
# 設備投資(検収)額・減価償却費の計画

□ ICパッケージ基板の需要拡大を機会と捉え、大型投資を計画通り執行し、中期での事業成長基盤を固める

## 設備投資額



## 減価償却費

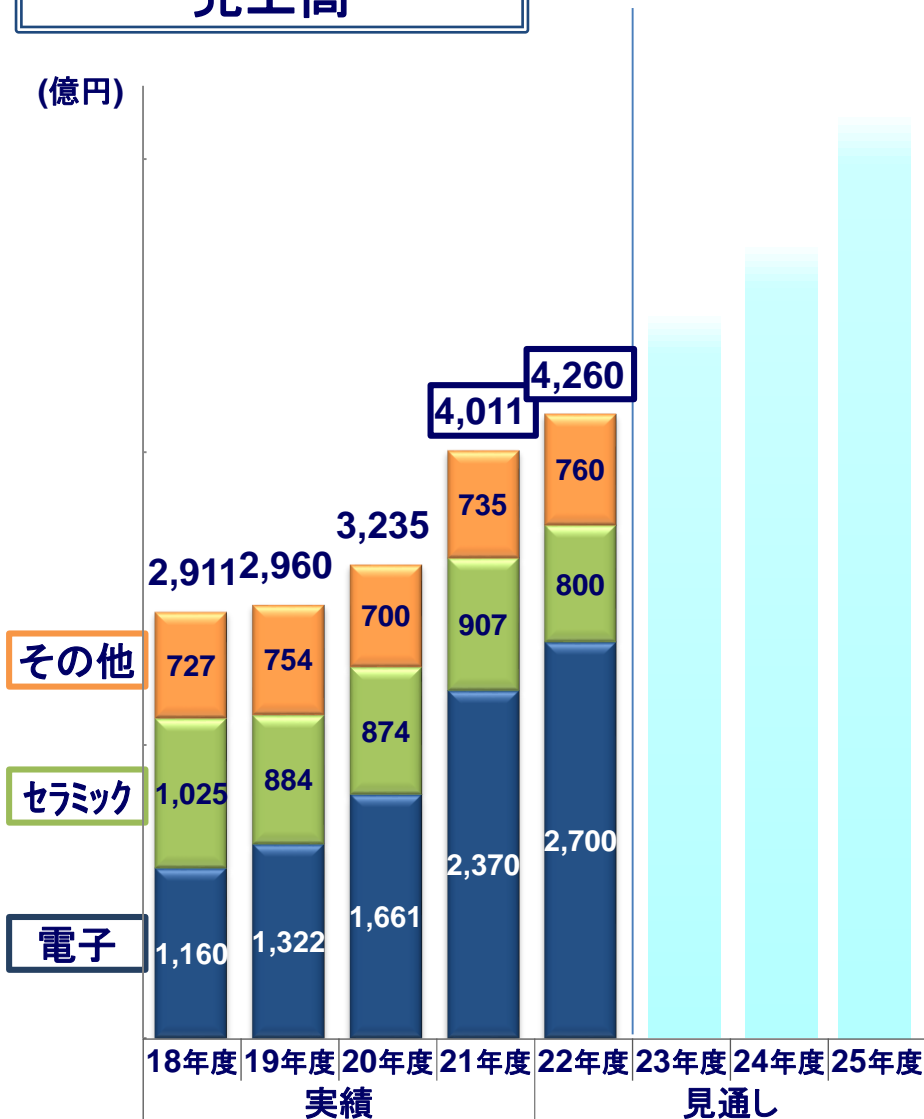


# 中期 業績見通し



## 売上高

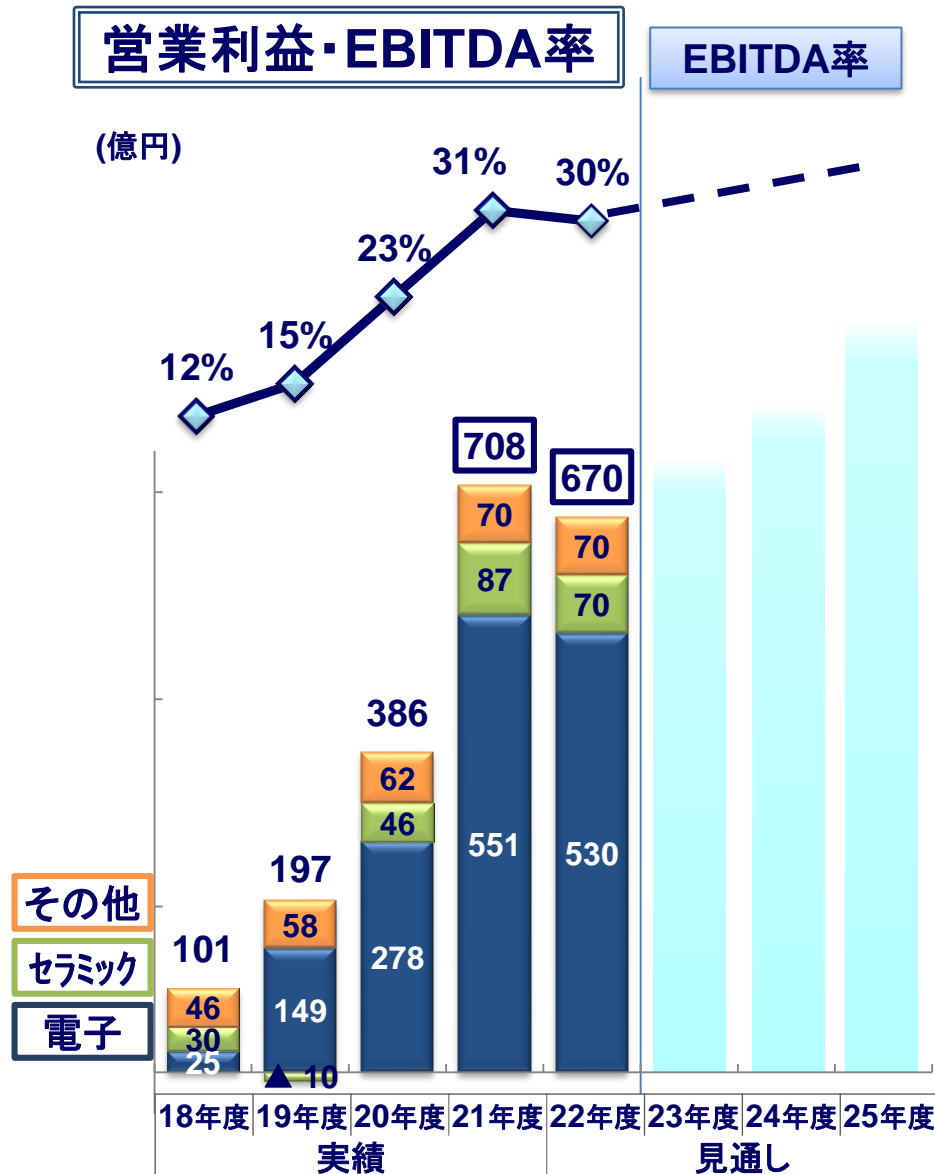
(億円)



## 営業利益・EBITDA率

EBITDA率

(億円)



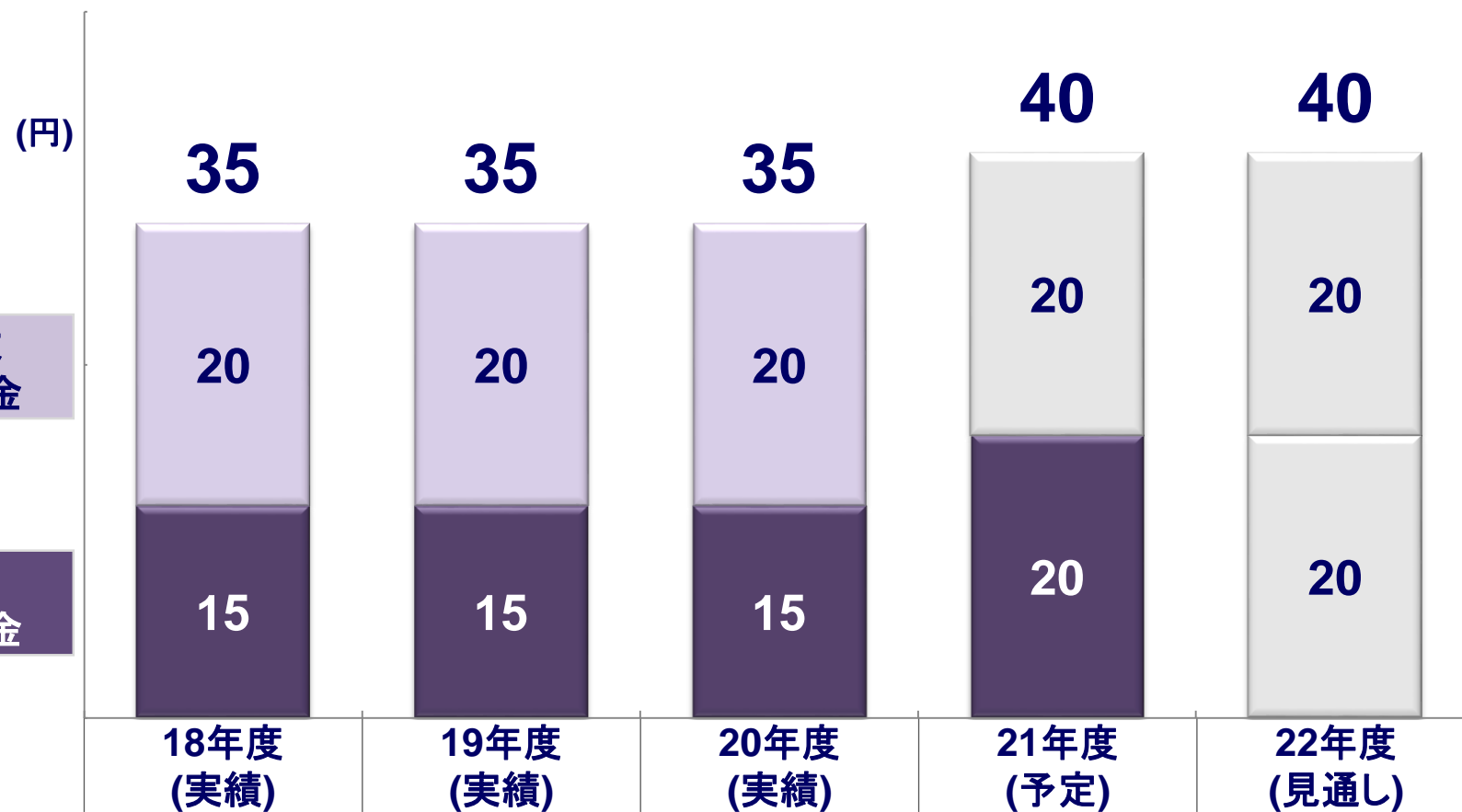


# 株主還元

# 株主還元

- 資本配分の考え方として、当面はICパッケージ基板向け大型投資を優先する
- 株主還元は「安定配当」を基本方針とする

## 一株当たり配当金



# 脱炭素社会と SDGsへの取り組み

# ESG経営の重点課題

## ■ 脱炭素社会への取り組み(GX推進)

**目標** 2030年度 : 排出量原単位半減、排出総量30%削減をめざす (17年度対比)  
 2050年度 : 可能な限り早い段階で『排出実質ゼロ』をめざす

- 1) 再生可能エネルギー・高効率コージェネレーションシステムの最大活用
- 2) 社内カーボンプライシングの導入、サプライチェーンを含めた省エネ活動の強化
- 3) DX活用による生産効率化
- 4) 新分野(CO2回収・固定化)の技術開発



## ■ ダイバーシティ&インクルージョン

- ・ 技能実習を通じた海外拠点との人材交流
- ・ 目標: 女性社員に占める管理職20%以上
- ・ 目標: 女性取締役比率1/3



## ■ ガバナンス

- ・ 東京証券取引所プライム市場に格付け

### 【実績】

- ・ 社外取締役比率50%
- ・ 社外取締役を委員長とした指名・報酬委員会による透明性の高い報酬運営

PRIME  
TOKYO



## ■ 技術・事業活動を通じたアクション

### デジタルイノベーションの実現

- 高機能・高信頼性のICパッケージ基板
- 微細配線技術の革新



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

### 大気の水質の改善(環境汚染)

- ディーゼル・パーティキュレート・フィルター
- 排ガス浄化用触媒



11 住み続けられるまちづくりを

### 脱炭素社会への取り組み(気候変動)

- クリーンエネルギー供給
- 先進セラミック製品
- 森林保護、防災強化



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

13 気候変動に具体的な対策を

## ■ 社会課題の解決へ新たな挑戦

- EVバッテリー用部材
- カーボンニュートラルに向けて次世代NEV向け製品を開発・事業化



13 気候変動に具体的な対策を

- 植物活性化材
- 健全な成育をサポートし、持続可能な農業を実現

**LEAFENERGY™**  
リーフエナジー



2 飢餓をゼロに

## ■ 最新鋭工場でのDX・GXの実現

- デジタル技術の活用による生産効率の最大化と難仕様製品の品質保証
- 最新の建屋設計と環境負荷の低い設備開発・選定によるエネルギー使用量・CO2排出の最小化



